

おはようございます！

令和6年がスタートしました。児童の皆さん、先生方と一緒に3学期の始業式を迎えることができ本当に良かったなと心から思っています。皆さんもニュースで知っている通り、正月に大きな地震が石川県の方であったり、翌日には飛行機の衝突事故があったりしました。本当に大変な2024年のスタートとなりました。

地震のひどかった地域では学校どころではなく、家が壊れたり津波で押し流されたりして安心してくつろげる場所もなく、食料や水も十分に行き届いていない状況がずっと続いています。そして、たくさんの方が今回の地震でお亡くなりになりました。その方々へ哀悼の意を捧げるためにこれから黙祷をします。校長先生が「黙祷」と言ったら目を閉じて、頭を下げて亡くなられた方に祈りを捧げてください。…「黙祷」。……「黙祷なおれ」協力してくれてありがとう

それではお話に入りたいと思います。

2024年(令和6年)の干支は何か知っていますか？そう辰ですね。正しくは甲辰(きのえたつ)と言います。この辰は竜(龍)のことです。十二支の中で唯一、空想上の生き物とされています。東洋(アジア地方)では、竜は聖なる神獣と言われ、竜が現れるといいことが起きると言われています。竜は水中をすみかにして、天気を操ることができるかとされています。では、いろいろな竜を見ていきましょう。

まずは、これです「黄龍」。これは「こうりゅう」と言います。古代中国ですべての神獣の長とされているものです。

次は、これ。みんなもよく聞いたことがある「ドラゴン」です。これは地中や洞窟などにすんで、火や毒を吐き、すみかには金銀財宝が山のようにあります。

3つ目は、これです。「ワイバーン」と言います。ドラゴンのなかまでドラゴンの頭にコウモリの翼、脚はワシで、尾はヘビという姿をしています。

4つ目は、これです。知っていますか？頭が九つある竜、「九頭竜」(くずりゅう)と言います。元々悪い竜でしたが、僧侶に懲らしめられて心を入れ替え、良い竜になったと言われています。九頭竜神社と言われる所が日本各地にあります。校長先生の住んでいる近くにもありますよ。

この竜の絵を見て何か足りないなと思うところはありませんか？

そうですね。「瞳がない！」ですね。瞳が描き入れられていないために未完成な絵となっています。そして、この瞳を描き入れると、このように絵が完成しますね。このことを「画竜点睛」(がりょうてんせい)と言います。「画竜」は竜の絵のこと。「睛」は瞳のこと。「点睛」は瞳を点けること。という意味があります。しかし、肝心の部分を入れずに未完成のまま放っておくことを「画竜点睛を欠く」と言います。

さあ、今日から始まった3学期。学校に来る日は、1年生から5年生までは51日、6年生は50日と大変短いです。大事なところが抜けることがないように、次の学年・学校への進級・進学に備えてまとめをしっかりとっていきましょう。「画竜点睛」となるようにがんばりましょう。

これで校長先生の話が終わります。